

柏市自立支援協議会全体会 部会報告シート②

No.	1	部会名	相談支援部会
トピック	相談支援体制について		
検討の背景 出た意見	相談員が孤立してしまわないように、委託相談や基幹センターは事業所からの相談や困難ケースと一緒に取り組んでほしい。		
課題	「柏市障害者相談支援従事者人材育成指針」のブラッシュアップ・活用と共に、三層（基本相談、委託相談、基幹相談）の相談体制について地区別研修や様々な機会を通して相談支援事業所への周知や連携が必要。		
今後の方針	自部会で検討継続 ・ 他部会でも個別に検討希望 他部会と合同で検討希望 ・ 部会での検討終了		
運営会議での取扱い	情報共有 ・ 意見交換		

No.	2	部会名	相談支援部会
トピック	くらしコーディネーターについて		
検討の背景 出た意見	グループホーム入居者が退去するように言われたり、入居したい方が区分の制限をされて断られている。		
課題	くらし部会から要望されたコーディネーターにも、役割や連携を含めて活躍していただきたい。		
今後の方針	自部会で検討継続 ・ 他部会でも個別に検討希望 他部会と合同で検討希望 ・ 部会での検討終了		
運営会議での取扱い	情報共有 ・ 意見交換		

No.	3	部会名	相談支援部会
トピック	身体障害者の就労について		
検討の背景 出た意見	通勤や職場などのハード面で就労を断られてしまう ことがあり、現行の制度やハード面で対応が難しく 働きにくさがある。		
課題	相談としてあがってくる利用者の声と、事業所側の どのように対応をして、どこまで対応できて、どこ に困難さを抱えているか等それぞれの視点で意見交 換が必要。		
今後の方針	自部会で検討継続 ・ 他部会でも個別に検討希望 他部会と合同で検討希望 ・ 部会での検討終了		
運営会議での取扱い	情報共有 ・ 意見交換		

No.	4	部会名	くらし部会
トピック	地域活動支援センターの課題について		
検討の背景 出た意見	地域活動支援センターを運営するにあたって、柏市 内在住で他市の福祉サービス受給者証を持っている 方が柏市の地活を利用することができない点、1時 間未満の利用者は請求対象外である点、就労系サー ビスとの同日利用が制度上認められていない点等、 課題点が多くある。引きこもりの方やグレーゾーン の方の支援等、既存のサービスでは賄いきれない部 分を担っている。地域活動支援センターの役割の見 直しが必要。		
課題	地域活動支援センターの役割の見直し		
今後の方針	自部会で検討継続 ・ 他部会でも個別に検討希望 他部会と合同で検討希望 ・ 部会での検討終了		
運営会議での取扱い	情報共有 ・ 意見交換		

No.	5	部会名	はたらく部会
トピック	令和7年10月開始予定の就労選択支援事業について		
検討の背景 出た意見	・ 就労選択支援事業の詳細を知る機会が少なく実施するかしないか判断が現状難しい。 ・ 就労選択支援事業を実施するにあたりどの事業所が担っていくか。 ・ 就労A・B型、ナカポツ、就労実施センター能力開発を行う機関か。 ・ 特別支援学校の生徒と就労選択支援事業との関わり方はどうなるのか。 ・ 就労選択支援事業を利用した際に相談支援専門員とどのように連動していくかなど不明な点が多い。 ・ 相談支援部会と合同で今年度中に研修会を開催したい。		
課題	・ 一般就労の可能性について、支援者が十分に把握できておらず、適切なサービス等に繋がられない。 ・ 一旦、就労継続支援A型・B型の利用が始まると、固定されてしまいやすい。 ・ 本人の立場に立ち、次のステップを促す支援者がいるかどうかで、職業生活や人生が大きく左右される。		
今後の方針	自部会で検討継続 ・ 他部会でも個別に検討希望 他部会と合同で検討希望 ・ 部会での検討終了		
運営会議での取扱い	情報共有 ・ 意見交換		

No.	6	部会名	こども部会
トピック	学齢期の保育所等訪問支援について		
検討の背景 出た意見	保育所等訪問支援は、国では年齢制限を置いていないが、柏市ルールでは円滑な学校生活への適応の為に引継ぎ期間の支援として、小学1年生までが対象となっている。しかし、学齢期の支援の充実のためにも、小学2年生以降の保育所等訪問支援は必要な方がいらっしゃるという意見も多い。非定型で申請をしている児のデータの作成と共有を求める。		
課題	保育所等訪問支援の対象年齢の撤廃の検討		
今後の方針	自部会で検討継続 ・ 他部会でも個別に検討希望 他部会と合同で検討希望 ・ 部会での検討終了		
運営会議での取扱い	情報共有 ・ 意見交換		

No.	7	部会名	こども部会
トピック	障害児の相談支援体制について		
検討の背景 出た意見	柏市には地域生活支援拠点地区に分かれて4拠点があるが、障害児通所支援事業所によって認知に差がある。支給決定がされていない児に関する相談があったり、セルフプラン児も増加傾向にある。地域障害児支援体制強化事業による事業所調査の結果から分かった実態、児童発達支援センターや（仮称）柏市こども・若者相談センター等機関の事業内容を踏まえた上で相談支援体制について考えていく必要がある。		
課題	柏市の実態を踏まえた障害児相談支援体制		
今後の方針	自部会で検討継続 ・ 他部会でも個別に検討希望 他部会と合同で検討希望 ・ 部会での検討終了		
運営会議での取扱い	情報共有 ・ 意見交換		